

地震の基礎知識



▼大規模地震 今後30年の発生確率と主な被害予想



主な被害想定結果				
想定項目	東海地震	東南海地震	東海・東南海地震	養老・桑名・四日市断層帯
全壊件数	13,000棟 (予想)	62,000棟 (予想)	100,000棟 (予想)	9,700棟 (予想)
火災	2,400棟 (予想)	15,000棟 (予想)	49,000棟 (予想)	70棟 (予想)
人的被害	13,270人 (予想)	48,300人 (予想)	68,400人 (予想)	4,070人 (予想)

▼海溝型地震 発生のおこり

南海トラフ

陸のプレート ユーラシアプレート

海洋プレート フィリピン海プレート

固着域 ※アスペリティ

※アスペリティとは固着域のうち、特に強く固着している部分のことをいう。

1

ひずみの蓄積

引きずり込み

2

津波の発生

跳ね上がり

3

海洋プレート(フィリピン海プレート)が陸のプレート(ユーラシアプレート)の方へ移動し、その下へ潜り込む。

陸のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。

ひずみがその限界に達したとき、陸のプレートが跳ね上がり、海溝型地震が発生する。その際、津波も発生する。

気象庁震度階級

<p>震度5弱</p> <p>多くの人が、身の安全をはかろうとする。食器や本が棚から落ちたり、家具が動くことがある。</p>	<p>震度5強</p> <p>非常な恐怖感があり、多くの人が行動に支障を感じる。タンスなどの重い家具が倒れることがある。</p>	<p>震度6弱</p> <p>立っていることがむずかしく、固定していない家具の多くが動いたり倒れる。耐震性の低い住宅は倒壊するものもある。</p>	<p>震度6強</p> <p>立っていらぬ、はわかないと動けない。耐震性の高い住宅でも柱や壁がかなり壊れる。</p>	<p>震度7</p> <p>揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。</p>
---	---	--	---	---

※震度は、震源からの距離や地盤の状態によって異なる各地点の揺れの強さ